

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

基準年月日 令和5年8月1日

調書番号	08-01	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局道路課長 塩田 雅史
				担当係	道路計画係 (内) 29-218

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	道路改築事業費（特定道路事業交付金）				
ふりがな 地区名	なよろえんへつせん 名寄遠別線	市町村名	遠別町	総事業費	15,030 百万円
負担割合	国	道	市町村	その他	
	80.0%	20.0%			
	12,024 百万円	3,006 百万円		百万円	

事業目的・目標	●上川北部地域と留萌北部地域を結ぶ新たな道路整備により、物流の効率化や住民生活の利便性向上、地域間の連携強化を図るとともに、自然災害発生時における代替ルートの確保や周遊観光への支援を図る。 【アウトカム】等 ●上川北部地域と留萌北部地域のアクセス向上 ●救急搬送や通院の支援 ●災害時の迂回距離の短縮 ●農林水産物の物流効率化				

事業概要	一般道道名寄遠別線は、名寄市から幌加内町を経由し遠別町に至る延長約90kmの路線である。 当該事業は、幌加内町と遠別町の境界から遠別町方面への交通不能区間7.8kmの解消を図るものである。	工事費内訳	【現況】未開通（現道なし）	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			【計画】延長L=7.8km 幅員W=1.25+5.5+1.25 道路工 L=5.5km → L=5.7km 橋梁工 N=9橋 → N=4橋 トンネル工 L=758m 地すべり対策工 N=6箇所 → N=9箇所 測量設計費 1式 用地補償費 1式	前回評価	今回評価	増減額
				3,219	4,890	1,671
				3,300	1,355	△ 1,945
				3,178	4,287	1,109
				1,771	2,685	914
				1,580	1,755	175
				52	58	6
			計	13,100	15,030	1,930

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		人・地域	持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備	連携と交流を支える総合的な交通ネットワークの形成	安全・安心な道路網の充実

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強化計画 P44】 （道内交通ネットワークの整備） 災害時における広域交通の分断を回避するため、中心市街地と地方を連結するアクセス道路の整備など、広域的な道路ネットワークの強化を推進する。
	関連する指標	—

II 公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費	道負担額	当該年度事業費	累計事業費	進捗率(b)/(a)
							(a)			(b)	
事前評価又は当初	H22 (2010)	H22 (2012)	H22 (2010)	H27 (2015)	13	15,030	4,710	942			
前回再評価	H22 (2010)	H22 (2010)	R1 (2019)	R7 (2025)			13,100	2,620		4,895	37%
今回評価			R5 (2023)	R7 (2025)			15,030	3,006	2,625	12,529	83%

変更理由・内容（概要）	●全体事業費 ・工事用道路の延伸による増額 ・橋梁からカルバートへの変更による減額 ・トンネル掘削補助工法等の変更による増額 ・コンクリート運搬車を管外から手配したことによる増額 ・通信設備（自管柱）の整備による増額 ・地すべり対策範囲の増加による増額 ・資材、労務単価の上昇による増額
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	●S49年 開発道路指定、事業着手（国） ●H18年 「道州制特別区域における広域行政の推進に関する法律」により開発道路の事業を計画・実施する権限の移譲が決定 ●H22年 開発道路の指定の廃止を受け、7.8km区間の移譲を受ける
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	●平成22年7月に開発道路名寄遠別線建設促進期成会から移行した一般道道名寄遠別線建設促進期成会（会長：名寄市長、副会長：幌加内町長・遠別町長）により要望書が平成22年度以降毎年提出されている。 ●留萌地域総合開発期成会より要望書が平成22年度以降毎年提出されている。 ●小平・幌加内・沼田3町広域振興協議会より要望書が平成22年度以降毎年提出されている。 ●上川地方総合開発期成会より要望書が平成24年度以降毎年提出されている。 ●道北商工会議所連合会より要望書が平成23年度以降毎年提出されている。
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	●名寄市・幌加内町と遠別町を結ぶ道路ネットワークの拡充により、留萌北部の住民生活の利便性向上 ●留萌北部から名寄市内の高次医療機関への迅速性・安全性・確実性の向上 ●遠別町における災害時の孤立集落の解消 ●遠別町からオホーツク北部へのホタテ稚貝輸送の効率化 ●留萌圏・宗谷圏と上川北部圏をつなぐ広域観光ルートの形成

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容

IV 事業の実施状況

(1) 事業実績及び今後の計画														
施工(工種)区分	工事内容	H22	～	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	進捗状況	事業費(百万円)
道路工	L=5.7km	←			L=3.6km(踏込工)							L=2.1km	75%	4,890
橋梁工	N=4橋	←			N=4橋								100%	1,355
トンネル工	L=758m							L=758m(本体工)				防災施設等	94%	4,287
地すべり対策工	N=9箇所							N=8箇所(暫定5箇所)				N=1箇所	72%	2,685
測量設計費	調査・設計	←										←	95%	1,755
用地補償費	用地買収、物件補償	←	→									←	100%	58

(2) 進捗状況

地すべり対策の拡大や通信設備の整備等による事業費の増額はあるが、今後は概ね計画どおりに進捗が図られる見込み。

b a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R5 現在	項目	R5 現在	
	走行時間短縮便益	19,274	事業費	16,198	○「費用便益マニュアル(国土交通省R04年)」に基づき算出 ○効果は、道路整備に伴う走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少を算出 ○効果及び費用は、「整備期間+完了後50年間」で算出し、令和5年に現在価値化した値 ○費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる
	走行経費減少便益	391	維持管理費	264	
	交通事故減少便益	16			
	合計(B)	19,681	合計(C)	16,462	
	B/C	前回算定年度 : 令和元年度(2019年度)【再評価】 前回算定時B/C : 1.33 (合計(B): 16,954 合計(C): 12,721)			
	R5 現在	変更理由			
	1.20	<ul style="list-style-type: none"> ・R4に改定された費用便益分析マニュアルに基づき算出 ・事業費の増額に伴う費用の増加 			

3. コスト削減などの取組	取組の項目	取組内容	削減額(百万円)
	トンネル費のコスト削減	トンネル区間の路肩幅を縮小し、トンネル断面を縮小	120
	資源循環の促進	舗装に再生アスファルト合材を使用しコスト削減、かつ資源の循環を促進	50
	資源循環の促進	すき取り土を法面法覆工として再利用しコスト削減、かつ資源の循環を促進	90

V 評価

1. 必要性	留萌北部と上川北部間の交通不能区間を解消による、物流・観光ルートの確保、孤立化の解消及び地域医療への支援など、地域間の連携強化の観点から重要性に変わりはなく、当該事業の必要性に変化はない。					
	a	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。				
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題					
	<ul style="list-style-type: none"> ●事前の環境調査で確認された希少種について、専門家の意見に基づくモニタリング調査や移植を実施している。 ●現地で発生するすき取り土を法覆基材として盛土法面に再利用し、在来種による法面緑化を実施している。 ※前回の再評価以降における状況変化はない。					
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向					
3. 事業達成の見込み	●毎年、留萌地域総合開発期成会などから整備要望を受けており、また、今年度行った遠別町民を対象とした意向調査でも、回答のうち「道路整備に非常に期待する」と「期待する」が約7割を超え、工事の早期完成に対し大きな期待が寄せられている。					
	※前回の再評価以降における状況変化はない。					
	(3) その他の課題					
4. 対処方針	●特になし ※前回の再評価以降における状況変化はない。					
	今後の事業進捗に影響を与える要因も無いことから、事業の達成が十分に見込まれる。					
	a	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。				
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けていることから、事業を継続する。					
	a	a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止				
	事業期間変更の有無	無	事業内容変更の有無	有	総事業費変更の有無	有

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価：－ 再評価：平成26年度実施 評価結果：継続（変更なし） B/C:1.53 再評価：令和元年度実施 評価結果：継続（変更なし） B/C:1.33
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

補足資料

VII 事業計画変更

(単位：百万円)

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度 事業費	累計事業 費(b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H22 (2010)	H22 (2012)	H22 (2010)		H27 (2015)	13	4,710			
変更①		H22 (2010)	H22 (2012)		H24 (2012)	H27 (2015)		5,370			
変更②	1回目	H22 (2010)	H22 (2012)	H26 (2014)	H26 (2014)	H33 (2021)		11,500			
変更③	2回目			R1 (2019)	R1 (2019)	R7 (2025)		13,100			
変更④	3回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R7 (2025)		15,030	2,625	12,529	83%
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容	変更①：総事業費の変更 ・地すべり、土石流対策、橋梁の調査設計費が増額 変更②：事業期間・総事業費の変更 ・土石流の発生により、道路横断排水形状をカルバートから橋梁へ変更したことや地すべり対策工の増工による増額 ・その調査設計及び施工に時間を要することによる事業期間の延伸 変更③：事業期間・総事業費の変更 ・土工の変更、工事用道路の設置・撤去及び橋梁形式の変更等による増額 ・事業箇所への搬出入路等の被災、橋梁形式の変更による事業期間の延伸 変更④：総事業費の変更 ・工事用道路の延伸による増額 ・橋梁からカルバートへの変更による減額 ・トンネル掘削補助工法等の変更による増額 ・コンクリート運搬車を管外から手配したことによる増額 ・通信設備（自営柱）の整備による増額 ・地すべり対策範囲の増加による増額 ・資材、労務単価の上昇による増額										

事業概要図

事業名	道路改築事業費 (特定道路事業交付金)	地区名	(一) 名寄遠別線
-----	------------------------	-----	-----------

事業地区位置図

